

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公開番号】特開 2019-117356 (P2019-117356A)
 【公開日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-028
 【出願番号】特願 2017-252542 (P2017-252542)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 1 5

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 23 日 (2020.12.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筒状のフィルムと、
 前記フィルムの内面に接触するニップ部形成部材と、
 前記フィルムを介して前記ニップ部形成部材と共にニップ部を形成するローラと、
前記ローラの回転軸方向への前記フィルムの寄り移動を規制する規制部材と、
を有し、画像が形成された記録材は前記ニップ部で搬送されながら加熱され、前記画像
は記録材に定着される定着装置において、
前記規制部材は、前記フィルムの端面と対向する面であって、前記フィルムが寄り移動
した場合に前記端面が接触する第 1 の面と、前記フィルムの内面に対向する面であって、
前記フィルムの回転をガイドする第 2 の面と、を有し、

前記第 1 の面は、記録材の搬送方向に見ると、前記搬送方向と前記回転軸方向との双方
に垂直な方向に関し、前記ニップ部から離れるにつれて前記フィルムの前記端面に近づく
方向に傾斜し、前記垂直な方向に見ると、前記搬送方向の下流側に向かうほど前記フィル
ムの前記端面から離れる方向に傾斜し、

前記第 2 の面は、前記搬送方向に見ると、前記フィルムの前記回転軸方向の中央に近づく
につれて前記ローラに近づく方向に傾斜し、前記垂直な方向に見ると、前記フィルムの
前記中央に近づくにつれて前記搬送方向の下流側に向かう方向に傾斜していることを特徴
とする定着装置。

【請求項 2】

前記第 2 の面は、前記第 1 の面に垂直であることを特徴とする請求項 1 に記載の定着装置。

【請求項 3】

前記第 1 の面は平面であり、前記垂直な方向に見たときの前記第 1 の面の垂線の前記回
転軸方向に対する傾斜角を第 1 の角度とすると、前記第 1 の角度は、0.5 度以上 3.0
度以下であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の定着装置。

【請求項 4】

前記搬送方向に見るときの前記第 1 の面の垂線の前記回転軸方向に対する傾斜角を第 2
の角度とすると、前記第 2 の角度は、0.3 度以上 1.5 度以下であることを特徴とする
請求項 3 に記載の定着装置。

【請求項 5】

前記ニップ部形成部材の前記フィルムと接触する面と反対側の面から前記ニップ部形成部材を支持する支持部材と、前記支持部材を補強する補強部材と、を有し、

前記規制部材は、前記第 1 の面及び前記第 2 の面が傾斜するように前記補強部材に位置決めされていることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の定着装置。

【請求項 6】

前記第 1 の面は平面であり、前記垂直な方向に見たときの前記第 1 の面の垂線の前記回転軸方向に対する傾斜角は、前記搬送方向に見たときの前記第 1 の面の垂線の前記回転軸方向に対する傾斜角よりも大きいことを特徴とする請求項 1 に記載の定着装置。

【請求項 7】

前記ニップ部形成部材は、板状のヒータであることを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の定着装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明は、筒状のフィルムと、前記フィルムの内面に接触するニップ部形成部材と、前記フィルムを介して前記ニップ部形成部材と共にニップ部を形成するローラと、前記ローラの回転軸方向への前記フィルムの寄り移動を規制する規制部材と、を有し、画像が形成された記録材は前記ニップ部で搬送されながら加熱され、前記画像は記録材に定着される定着装置において、前記規制部材は、前記フィルムの端面と対向する面であって、前記フィルムが寄り移動した場合に前記端面が接触する第 1 の面と、前記フィルムの内面に対向する面であって、前記フィルムの回転をガイドする第 2 の面と、を有し、前記第 1 の面は、記録材の搬送方向に見ると、前記搬送方向と前記回転軸方向との双方に垂直な方向に関し、前記ニップ部から離れるにつれて前記フィルムの前記端面に近づく方向に傾斜し、前記垂直な方向に見ると、前記搬送方向の下流側に向かうほど前記フィルムの前記端面から離れる方向に傾斜し、前記第 2 の面は、前記搬送方向に見ると、前記フィルムの前記回転軸方向の中央に近づくにつれて前記ローラに近づく方向に傾斜し、前記垂直な方向に見ると、前記フィルムの前記中央に近づくにつれて前記搬送方向の下流側に向かう方向に傾斜していることを特徴とする。